

## 社会科（地理的分野）学習指導案

1. 日時：2022年6月9日（木）4限目

2. 場所

3. 学級

4. 教科書

①加賀美雅弘ほか『社会科 中学生の地理-世界の姿と日本の国土-』帝国書院、2022年

教材・参考書 ①菊池俊夫『地の理の学び方-地域のさまざまな見方・考え方-』二宮書店、2021年

②千相哲『九州地域学』晃洋書房、2019年

③豊下櫛彦『沖縄を世界軍縮の拠点に一辺野古を止める構想力-』岩波書店、2020年

5. 単元名：九州地方

6. 単元観：本単元では、九州地方の地形や気候の特色を理解し、人々の生活や農業、産業などと結びつけて考えることが主題である。九州に住む人々がどのように自然と共生しているのかについて、単元を通して考察する。そして、九州地方の自然や文化を理解するだけに留まらず、地域ごとの課題を見だし、解決に向けて話し合うことで、よりよい社会の実現に対する意識が高まると考える。また、日本地誌の最初の単元であることを考慮して、各地域にはそれぞれ特徴があり、人々は農業や産業を営みながらその特徴に合わせた生活をしていることを理解し、以降の日本地誌の学習の基礎を作る。

7. 生徒観：

8. 指導観：具体的な指導にあたっては、まず白地図を用い、地域の地理的な特色を捉えることが必要だと考える。また、知識の暗記のみとなってしまうことのないように、写真や実物資料などを効果的に使用して、想像力を膨らませ思考が深まる授業を行う。また、授業の最後にまとめの時間を設定し、学んだ内容を復習し可視化する作業を取り入れる。

9. 単元目標

- ・九州地方の地形や気候の特色を理解し、それらの特色が人々の生活に与える影響について理解することができる。
- ・自然環境に影響された九州地方の文化について、その歴史を踏まえて理解することができる。
- ・地図を活用し、九州地方の山地や河川、平野などの位置関係を読み取ることができる。
- ・雨温図や農業出荷額などのグラフを活用し、九州地方の特色を数的に読み取ることができる。

【知識・技能】

- ・九州地方の農業について、地形や気象の影響から地域ごとの特色を見だし、その土地の主要な農産物と関連づけて考察することができる。
- ・九州地方の産業の発展について、大陸や県同士の位置関係を踏まえた上で、1年次での歴史的分野の学習と関連づけながら考察することができる。

【思考・判断・表現】

- ・自然環境と共存する生活について関心をもち、環境に配慮しながら豊かな生活を送る方法について、意欲的に探究することができる。
- ・自然災害や沖縄県のアメリカ軍基地問題など、地域に見られる課題を見だし、他者と意見を交えながら、主体的に解決しようとするすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

## 10. 単元の指導計画

時	学習内容	主な問い	目標	主な資料
1	九州地方の自然環境	・なぜ、九州地方は温暖で、台風が多いのだろう。	・九州地方の地形と気候の特色を理解する。そして、それらの特色が各県の特色と結びつき、農業や産業といった人々の生活に深く影響していることを理解する。	・九州地方の地図 ・カルデラの写真 ・Google Map ・九州地方の雨温図
2	火山と共にある九州の人々の生活	・火山のある地域で暮らしていくためには、どのような工夫が必要だろう。	・九州には火山が多く存在し、災害を引き起こす一方で豊かな恵みをもたらしていることを理解する。その上で、人々が火山とどのように向き合い暮らしているのかを理解し、その課題を考察する。	・桜島噴火時の映像 ・火山灰が降り注ぐ町の映像 ・別府温泉や湯布院温泉の観光雑誌 ・地熱発電の写真
3	自然を生かした九州地方の農業	・なぜ、九州の北と南で、盛んな農業が異なるのだろう。	・九州地方の農業は、北部の筑紫平野では二毛作が盛んであること、南部では野菜の促成栽培や畜産が盛んであることを理解する。また、	・桜島の火山灰（実物資料） ・シラス台地の写真 ・始良カルデラとシラ

			地域差が生まれた原因について、九州の地形の特色と結びつけながら考察する。	ス台地の形成図 ・宮崎県のビニール畑 ・筑紫平野での二毛作
4	都市や産業の発展	・なぜ、福岡は九州の中心都市として発展したのだろう。	・福岡市は大陸と近く、中国や韓国との交流地として発展した歴史を理解する。また、石炭の産出地であった北九州市が工業地帯として発展したことを理解する。その上で、公害の歴史にも触れ、環境保全の重要性を理解する。	・九州地方と大陸の位置関係 ・筑豊炭田の写真 ・八幡製鉄所の写真 ・水俣病についての資料
5	南西諸島の自然と人々の生活や産業 【本時の学習】	・沖縄県のアメリカ軍基地問題について、どうすれば解決できるだろう。	・日本列島とは異なる沖縄県の文化と自然環境を理解する。また、琉球王国やアメリカ軍占領地としての歴史を踏まえ、沖縄の文化や環境を守るための方法について考察する。	・南西諸島の海の写真 ・伝統的な沖縄の家屋 ・首里城の写真 ・アメリカ軍基地についての新聞記事

## 11. 本時の目標（5時間目）

①南西諸島の自然環境や人々の生活・文化について、次のような特色を理解することができる。 【知識】

- ・南西諸島は一年中温暖で、亜熱帯特有の植物などが生息しており、日本の他の地域とは異なる自然が広がっている。
- ・南西諸島では、さとうきび栽培など温暖な気候を生かした農業や、美しい自然を生かした観光業が盛んである。特に、琉球王国の歴史が生み出した独自の文化は貴重な観光資源である。
- ・沖縄県は第二次世界大戦後にアメリカ軍の統治下に置かれていた歴史があり、今もなお、アメリカ軍基地の存在が地域の問題となっている。

②沖縄県の課題について理解し、その解決に向けて対話を通して多角的に考察することが出来る。

【思考・判断・表現】

## 12. 本時の展開

		学習活動	指導上の留意点	資料
導入	5分	導入と本時のめあて ○この沖縄の方言はどういう意味だろう。 →方言からもわかるように、南西諸	・スライドに沖縄方言を4単語映し、意味を予想させる。	・沖縄方言

		<p>島の文化は日本本土の文化と少し異なることを理解する。</p> <p>○本時の目標をプリントに記入</p>	<p>・本時の目標「南西諸島の自然環境と人々の生活について理解しよう。」</p>	
展 開	3 分	<p><b>南西諸島の自然</b></p> <p>○南西諸島の気候は、一年を通して温暖であることを復習する。</p> <p>○「青い海、白い砂浜」という表現について</p> <p>・大阪の海の砂浜は白くないことに気づく。</p> <p>→ (①) サンゴ礁と記入・・・【知識】</p> <p>○南西諸島に特に多い自然現象は何だっただろう。</p> <p>→ (②) 台風と記入 ……【知識】</p> <p>○南西諸島の伝統的な住宅は、台風に対してどのような工夫をしているだろう。</p> <p>・家を囲む石垣や樹木が、暴風への対策であることに気づく。</p> <p>…【思考・判断】</p> <p>○では、最近多くなっている沖縄県の住宅の特徴は何だろう。</p>	<p>・本単元の第1時の復習</p> <p>・この表現はサンゴ礁の美しい海を表わしていることを説明する。</p> <p>・南西諸島の自然は日本本土と異なることを理解させる。</p> <p>・本単元の第1時の復習</p> <p>・屋根瓦や石垣に注目させ、どのような点が台風対策となっているのか、気づかせる。</p> <p>・見た目は大きく変わっているが、台風対策としての機能は同じであることを理解させる。</p>	<p>・沖縄県のビーチの写真</p> <p>・南西諸島の伝統的な家屋の写真</p> <p>・鉄筋コンクリート住宅の写真</p>
	3 分	<p><b>南西諸島の産業</b></p> <p>○沖縄県の産業別人口を見て気づくことは何だろう。</p> <p>→第三次産業が多い ……【技能】</p> <p>○第三次産業について、隣の人に説明しよう。 ……【知識】</p> <p>→南西諸島では、自然と文化を生かした観光業が盛んであることに気づかせる。</p> <p>○しかし、観光業の行きすぎには問題もある</p> <p>・リゾート開発の影響で、サンゴが</p>	<p>・系統地理の授業で学んだ「第三次産業」について復習させる。</p> <p>・第三次産業に代表される仕事がサービス業であることを補足する。</p> <p>・地域の良いところを発信することは大切だが、自然環境を破壊してしまう場合があることを理</p>	<p>・沖縄県の産業別人口</p> <p>・白化したサンゴ礁の写真</p>

	<p>死んでしまう問題があることを理解する。 …【知識】</p> <p>・南西諸島ではさとうきびの栽培が盛んであることを理解する。 → (③) さとうきびと記入…【知識】</p> <p>○さとうきびからは、何ができるだろう。 …【知識】 →砂糖</p>	<p>解させる。</p> <p>・さとうきびは、日照りや台風に強いことから、盛んに栽培されていたことを補足する。</p>	<p>・さとうきび畑の写真</p>
14分	<p><b>南西諸島の歴史</b></p> <p>○なぜ、南西諸島の文化は日本と少し異なるのだろう。</p> <p>・元は別の国であり、15世紀～17世紀初めに栄えた琉球王国の流れを汲む文化であることを理解する。 → (④) 琉球王国と記入…【知識】</p> <p>○首里城を見て、日本以外にどこの国の建物と似ているだろう。 →中国の建物と似ている …【思考・判断】</p> <p>○沖縄県は、第二次世界大戦後は日本の領土ではなかったことを知り、では、どこに統治されていたか考える。 …【知識】 →アメリカ</p> <p>○アメリカ軍の基地があると、どんな問題があるのだろう。 …【技能】【思考・判断】</p> <p>○アメリカ軍基地がなくなならない理由ってなんだろう。 …【技能】【思考・判断】</p>	<p>・沖縄県で発行されている、守礼門が描かれた二千元札を提示し、その独自の文化を感じさせる。</p> <p>・琉球王国は日本以外にも、中国や朝鮮半島などの文化の要素をもった独自の文化であることを理解させる。</p> <p>・教科書の資料を用い、沖縄本島の多くの地がアメリカ軍の基地になっていることに気づかせる。</p> <p>・基地からの騒音被害や、軍の飛行機が学校に墜落する事故などがあったことを説明する。</p> <p>・日本とアメリカで協定が定められており、中々変えることができ</p>	<p>・沖縄県の二千元札 (実物資料)</p> <p>・首里城の写真</p> <p>・中国と日本の伝統的建造物の写真</p> <p>・沖縄のアメリカ軍基地の写真</p> <p>・沖縄島の土地利用割合</p> <p>①騒音 ②軍用飛行機の墜落事故 ③米兵による犯罪 ④莫大な軍事費</p> <p>①日米地位協定について</p>

			ないことや、アメリカ軍が日本を守っているという意見もあることを説明する。	②軍雇用員の求人 ③基地賛成派の意見
展開	20分	<b>学習課題の設定</b> ○どうすれば沖縄の人々が安全に暮らすことができるだろう。 ……【思考・判断・表現】 ○プリントに自分の案を書き込もう。 ○班になって、意見を出し合おう。 ○班で出た意見を全体で発表しよう。 ○良いと感じた他生徒の意見はプリントにメモしよう。	・時間を設定し、自分なりに考えるよう指示する。 ・班内で発表者、書記、配布係、進行といった役割分担をさせることで、全員参加型の活動を促す。 ・班の意見が書かれたホワイトボードを黒板に貼り、発表者に班の意見を発表させる。 ・アメリカ軍基地についての問題は、解決が難しく、これからの社会をつくる私たちが考えていかなければならない問題であることを強調する。	
まとめ	5分	<b>本時のまとめ</b> ○今日学んだ内容について、南西諸島の（自然環境・産業・歴史）の三つのテーマから、一つ選んでまとめましょう。 ……【思考・判断・表現】	・今日学んだポイントを全体で確認する。 ・本時が九州地方の最後の授業であり、次回から中国・四国地方について学習することを伝える。	